

令和6年度

研究要領

研究テーマ 「子どもたちの確かな学びを支援する学校事務」
サブテーマ ～学校運営に資する実践の共有と活用を目指して～

基本方針

学校運営における基幹的職員として、リソースマネジメントを展開し、他職や地域との連携・協働等により学校全体の課題解決につながる実践を行う事務職員を目指し、その方策を提案します。

研究活動概要**1 実践研究の推進**

個人や共同実施組織で行われている実践を共有し、それらを自校や市町の学校課題に応じて活用できる仕組みづくりや資質向上につなげる研究を推進します。

2 共同実施の活性化に向けて

市町の共同実施の取組内容や運営などに関する課題を洗い出し、福井県の学校事務共同実施の目指す方向性について提案します。また、秋季研究会分科会などで、学校運営参画につながる取組内容や共同実施の課題解決に向けて検討し、改善と活性化を図ります。

- ① 共同実施の取組内容の質の向上や運営上の課題解決に向けて、「協同研究グループ」とともに実践、検証を行い、取組や実践を県下の共同実施における課題とクロスさせ、課題解決や改善のヒントにつなげる取組を行います。
- ② 「共同学校事務室」制度を視野に入れた福井県の将来の共同実施の在り方について研究します。

令和6年度

研修要項**基本方針**

教育行政職員としての専門的知見や多角的な視点を育成し、マネジメントスタッフとしての機能を向上させるために、以下の項目を柱として研修や活動を進めていきます。

- 家庭地域や外部機関と主体的に関わっていく事務職員になるための研修の推進
- 会員が主体的・意欲的に研修を受講できるような場の設定
- 計画性のある初任者・若手研修を実施し、相互に学び合い能力を高め合う組織づくりの追究
- 今後の学校事務組織を担うことができる人材の育成

年次別研修課題**キャリアに応じた学校運営参画を目指そう**

年次別研修課題を解決するために、以下の項目を重点に研修や活動を進めていきます。

1 会員の資質向上のための研修

会員のキャリアに応じた資質、能力および意欲向上を促進し、各々が目指す事務職員像に向けて主体的に行動することへの意識改革を促すための研修を実施していきます。

2 人材育成のための研修の充実

初任者や少経験者を対象とした研修においては、実践の基礎基本や手法等を学び、正確かつ迅速に校務を遂行できるように内容の充実を図ります。